

ISO通信 2019 2月号

— ISO マネジメント研究所の事務所通信 —

2019年2月28日発行

発行責任者 人見 隆之

ISOマネジメント研究所

〒279-0026 浦安市弁天 1-21-8-204

E-mail: info@iso-mi.com

<https://www.iso-mi.com>

最近の ISO に関する情報を中心に、
企業経営に役に立つ情報、組織内で使えるような
話のネタなど独自に厳選してお伝えします。

ニュース



株式会社オーグス総研、ISO9001 認証一時停止

2月21日、公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）は、一般財団法人日本科学技術連盟、ISO 審査登録センター（JUSE-ISO Center）が株式会社オーグス総研に対して認証を与えていた ISO 9001:2015 が一時停止されたことを公表した。同社は、ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」において、約480万件の顧客データが外部に漏洩したことを発表していた。

詳細：<https://www.jab.or.jp/news/2019/022100.html>

IPA、「2019年版 情報セキュリティ 10大脅威」を公表

1月30日、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）は、2018年に発生した情報セキュリティの事故・事件から、情報セキュリティ分野の研究者、企業などの実務担当者から構成されるメンバーの審議・投票によって選出したトップ10の脅威を公表した。

・選ばれたトップ10の脅威

順位	脅威の項目	昨年順位
1位	標的型攻撃による情報流出	1
2位	ビジネスメール詐欺	3
3位	ランサムウェアによる被害	2
4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃の高まり	ランク外
5位	内部不正による情報漏えい	8
6位	サービス妨害攻撃によるサービス停止	9
7位	インターネットサービスからの個人情報の窃取	6
8位	IoT 機器の脆弱性の顕在化	7
9位	脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加	4
10位	攻撃のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	12

詳細：<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2019.html>

今月の言葉

人の寿命はせいぜい百年、あつとつうまに過ぎ去ってしまう。幸いこの世に生まれたからには、楽しく生きていようと願うばかりでなく、ムダに過ごすことへの恐れをもたなければならぬ。

出典：『菜根譚』守屋 洋

『菜根譚』(せいこんたん)は中国の明代末期に書かれたもので、日本でも経営者の座右の銘の一つとしてあげられることも多いものです。この言葉「おつて、楽しく生きたいと思つていふは、もちろん必要なことだと思いますが、人間は確実に死に至り、その持っている時間は有限ですから、ムダに時間を過ごすまいといふことがより重要だと感じます。

マネジメントシステムで会社を変える

- 現場での具体的な実効策の浸透を図る -
先日、ある企業のプライバシーマークの審査において、企業の担当者からこんなことを聞きました。現地審査において、こられた審査員が形式要件ばかりの審査でかつ態度も高圧的だったので、その対応が大変だったということを知りました。今どき、こんな審査員がいるのも珍しいのですが、不適切な言動があれば、しっかりと相手側の事務局に抗議するべきです。これはたまたま特殊な審査員の事例とも言えますが、どちらかというと、プライバシーマークの審査手法は、文書などの形式要件がより重視される傾向があり、ISOの審査手法と比べるとかなり異なります。審査の対応において、形式要件も大事かと思いますが、やはり事故や事件を起こさないためにも、現場での具体的な実効策の浸透と成果がより大事だと思います。

ISO・Pマーク取得・維持支援コンサルティング実績

ISO27001：印刷業・従業員数 100 人、ISO27001：物流業・従業員数 98 人、ISO9001/ISO27001：情報サービス業・従業員 180 人、ISO9001：内装工事業・従業員数 20 人、ISO9001：建設コンサルタント業・従業員数 22 人、ISO9001：特別養護老人ホーム・従業員数 41 人、ISO14001：情報処理業・従業員 600 人、ISO9001：ばね製造業・従業員数 45 人、ISO14001：プラスチック製造業・従業員数 50 人、ISO14001：ばね製造業・従業員数 30 人、ISO14001/ISO9001：印刷業・従業員数 10 人、P マーク：ホームページ制作業・従業員数 18 人、P マーク：情報処理業・従業員数 12 人、その他中小企業。

今月の1冊



書名：『武器になる 西洋美術鑑賞』

著者：秋元雄史
発売日：2018年10月
出版社：大和書房

この本には、鑑賞できる名画がカラーで入っていますので、それを眺めるだけでも、十分に楽しめる本です。この本の著者は、現代アートを楽しむことは、知的ゲームのようなもの、凝り固まった頭のストレッチにもなると述べています。つまり、美術鑑賞は、知的トレーニングとも言えるのです。

編集後記

一月はいつてしまつ、二月は逃げていく、三月は去つていくという感じが言われたりします。あと一ヶ月で四半期が終わります。時間をムダに過ごさないためには、やることを決めるよりは、やらなければならないのが効果的だといわれます。私の場合、やらないと決めてもそれが守られないことが課題のようです。



近所の公園に咲いていました紅梅です。とてもよい香りがしました。